

教養教育科目

講義科目

基本/記述

授業科目名	日本の文学とことば	科目コード	配当年次	単位
担当教員	内山 政純	GA06	1	2

科目の概要

文学は、豊かな創造的精神をはぐくむ土壌として、時代を超えて私たちに影響を与えてきた。文学の歴史や優れた作品について学ぶことは、私たちに世界に対する新たな認識をもたらし、私たちの想像力・思考力を培ってくれる。

本科目では、古代から現代までの日本の文学をそれぞれの時代との関連性において考察し、日本の文学についての認識を深めることを目指す。文学と言葉、個々の作品における形式と内容の問題などを取り上げ、各時代における文学の有様を総合的に学習する。

科目の到達目標

- ①日本の文学史における代表的な作家・作品・文学ジャンルなどについて説明できる。
- ②日本の文学史において様々な作家・作品が登場した時代背景を考察することができる。

テキスト	『新編これからの日本文学』丸山 顯徳（編）, 金壽堂出版, 2007年
------	-------------------------------------

テキストの読み方

- ①日本の文学史において、どのような作家・作品・文学ジャンルが存在するのかを学習する。
- ②文学および言葉が歴史の流れの中において、どのように変化していったのかを学習する。
- ③個々の作家・作品あるいは文学ジャンルの在り方を学ぶことを通して、文学と社会、言葉と社会の関係についての認識を深めることが求められる。

単位修得の方法

レポート課題を提出し、60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、2単位を修得できる。